

令和5年 4月7日

保護者の皆様へ

糸満市立高嶺中学校
校長 親泊 正幸
(公印省略)

令和5年4月以降におけるマスクの取り扱いについて（周知）

春陽の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、令和5年度が始まりました。生徒たちそれぞれ今年度の希望をもって今日を迎えていると思います。

ところで、令和5年3月17日付けで文部科学省より「新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方の見直し等について(通知)」が発出されました。

そこで、感染症対策およびマスクの取り扱いについて下記の通りといたします。ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

記

基本的な考え方

- (1) 生徒及び教職員については、学校教育活動に当たってマスクの着用を求めません。
- (2) 基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望したり、健康上の理由によりマスクを着用できない生徒もいることなどから、学校や教職員はマスクの着脱を強いることはありません。
- (3) 生徒・教職員及び保護者の間でも、マスクの着用の有無による差別・偏見等は厳に慎んでください。皆が気持ちよく過ごせるようお互いを尊重しましょう。
- (4) 学校教育活動の中で、「感染リスクが比較的高い学習活動」の実施にあたっては、活動の場面に応じて一定の感染症対策を実施します。また、部活動等においても同様に実施します。
- (5) 新型コロナウイルス感染症に限らず、季節性インフルエンザ等も含め、感染症が流行している場合などには、教職員がマスクを着用するまたは生徒に着用を促すことも考えられますが、そういった場合においてもマスクの着用を強いることはありません。
- (6) 咳やくしゃみの際には、咳エチケットを行っていただきますようお願いいたします。
- (7) 常に教室内の換気に取り組んでいきます。
- (8) 給食等の食事を摂る場面において、引き続き食事の前後の手洗いを徹底していただくとともに、換気を確保していきます。
- (9) 黙食は必要ありませんが大声での会話は控え、飛沫は飛ばさないように注意して食事を摂りましょう。

《連絡先》 糸満市立高嶺中学校
教頭 井上 洋文
(Tel) 098-994-2045 (Fax) 098-995-0149
(E-mail) takacyu@takaminec.city.itoman.okinawa.jp

「感染のリスクが比較的高い学習活動」の実施に当たっての感染症対策

【各教科等共通】

「児童生徒が対面形式となるグループワーク等」

- ・ 気候上可能な限り、2方向の窓を同時に開けて、常時換気を行うとともに、CO₂モニターを使用して換気の状態を計測すること
- ・ 十分な換気が確保できない場合には、サーキュレータやHEPAフィルタ付き空気清浄機等の補完的な措置を講じること
- ・ 少人数のグループで実施するとともに、大声での会話は控えること

「一斉に大きな声で話す活動」

- ・ 気候上可能な限り、2方向の窓を同時に開けて、常時換気を行うとともに、CO₂モニターを使用して換気の状態を計測すること
- ・ 十分な換気が確保できない場合には、サーキュレータやHEPAフィルタ付き空気清浄機等の補完的な措置を講じること
- ・ 近距離で向かい合っただけの発声は控えること

【理科】

「児童生徒がグループで行う実験や観察」

- ・ 気候上可能な限り、2方向の窓を同時に開けて、常時換気を行うとともに、CO₂モニターを使用して換気の状態を計測すること
- ・ 十分な換気が確保できない場合には、サーキュレータやHEPAフィルタ付き空気清浄機等の補完的な措置を講じること
- ・ 少人数のグループで実施するとともに、大声での会話は控えること
- ・ 共用又は備え付けの器具・用具等を使用する際には、配置場所や使用順を工夫し、触れ合わない程度の距離を確保すること

【音楽】

「児童生徒が行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の演奏」

- ・ 教室の構造や周囲の状況も踏まえた上で、気候上可能な限り、2方向の窓を同時に開けて、常時換気を行うとともに、CO₂モニターを使用して換気の状態を計測すること
- ・ 十分な換気が確保できない場合には、サーキュレータやHEPAフィルタ付き空気清浄機等の補完的な措置を講じること
- ・ 体の中心から前方1 m程度・左右50cm程度を目安とした距離を確保し、原則、向かい合っただけの歌唱は控えること

【図画工作、美術、工芸】

「児童生徒が行う共同制作等の表現や鑑賞の活動」

- ・ 気候上可能な限り、2方向の窓を同時に開けて、常時換気を行うとともに、CO₂モニターを使用して換気の状態を計測すること
- ・ 十分な換気が確保できない場合には、サーキュレータやHEPAフィルタ付き空気清浄機等の補完的な措置を講じること
- ・ 少人数のグループで実施するとともに、大声での会話は控えること
- ・ 共用又は備え付けの器具・用具等を使用する際には、配置場所や使用順を工夫し、触れ合わない程度の距離を確保すること

【家庭、技術・家庭】

「児童生徒がグループで行う調理実習」

- ・ 気候上可能な限り、2方向の窓を同時に開けて、常時換気を行うとともに、CO₂モニターを使用して換気の状態を計測すること
- ・ 十分な換気が確保できない場合には、サーキュレータやHEPAフィルタ付き空気清浄機等の補完的な措置を講じること
- ・ 少人数のグループで実施するとともに、大声での会話は控えること
- ・ 共用又は備え付けの器具・用具等を使用する際には、配置場所や使用順を工夫し、触れ合わない程度の距離を確保すること
- ・ 試食の際は、大声での会話は控える、座席を向かい合わせにしない、向かい合わせにする場合には対面の座席間に一定の距離（1 m程度）を確保する等の措置を講じること

【体育、保健体育】

「組み合ったり接触したりする運動」

- ・ 屋内で実施する場合には、気候上可能な限り、2方向の窓を同時に開けて、常時換気を行うとともに、CO₂モニターを使用して換気の状態を計測すること
- ・ 十分な換気が確保できない場合には、サーキュレータやHEPAフィルタ付き空気清浄機等の補完的な措置を講じること
- ・ 大声での発声は控えること
- ・ 見学や休憩時等には、触れ合わない程度の距離を確保し、大声での会話や発声は控えること